

2021 3/9

No.2134

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



鎌倉・稲村ヶ崎から望む夕暮れの相模湾。手前には江の島、遠く富士山や箱根の山々を望む。



視点点描 3

「読まれる記事」を分析

講演録 4

コロナ危機下の企業経営とSDGs

SDGパートナーズ代表取締役CEO 田瀬 和夫

社会 8

コロナ禍の若者恋愛事情

密避ける“出会い”が全盛

経済 14

自動車業界、震源地は欧州

“環境問題”に迫られる対応

くらし2021 16

加算報酬、利用者の理解得られる？

経済双眼鏡 18

「長男は別人格」

免れない首相の政治責任

アジアの風 19

比大統領は娘サラ氏が継承か

事務局だより

◇2021年3月定例講演会
ユーチューブによるライブ配
信で開催

配信日時 3月16日(火) 午
後0時30分～1時30分

講師は飯舘村復興アドバイ
ザー 前原子力規制委員会委
員長の田中俊一氏

演題は「東日本大震災から10
年ー福島第一原発事故被災地
の現状と課題ー」

【お知らせ】 神奈川政経懇話会ではホームページと会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせは事務局 ☎045(226)2121。

視点 点描



「読まれる記事」を分析

ウェブサイトででのニュース発信は、発行が毎日1、2回に限られる新聞と違って、発信もアクセスも文字通りのリアルタイムだ。季節や時期だけでなく、朝、昼休み、夕方、夜間といった時間帯でも、アクセスを集めるニュースのカテゴリはそれぞれ違ってくる。新型コロナウイルスに関連する記事でも、こうした傾向は例外

ではない。

ウェブサイト「カナロコ」では神奈川の感染状況を毎日、集計して公開している。各行政が発表するデータが基盤で、このニュースは概してアクセスが多い。このほかの関心事は、訪問者が検索するキーワードの動向を眺めることで、おおまかな想像がつく。新型コロナウイルス関連のキーワードの

うち、昨年10月から12月までの3カ月間では、上位には、

〈クラスター〉

〈Go To イート〉

〈抗原検査〉

などが目立った。

これが年明けになると変化が生じてきている。1月から2月では、

〈クラスター〉

〈成人式〉

〈ワクチン〉

などが上位となっている。記事では、こうしたキーワードが目立つようなタイトルを付けて、ネット検索で拾われやすくなるように心がけている。

前述の通り、読まれるニュースのカテゴリは時間帯によっても違う。「Go To トラベル」政策やワクチン供給などの硬派な記事は、朝から昼休みにかけて読まれがちだ。その一方、地元自治体

のワクチン接種に向けた準備というような、生活への密着度が高いテーマは、夕から夜にかけてアクセスを集める傾向が強い。

つまりはマーケティングである。リアルタイムでデータをらみつつ、コンテンツへのアクセスや検索ワードのボリュームを把握し、発信のタイミングの参考にす。各ページの記事が最後まで読んでもらえた割合、あるいは途中で読むのをやめた人の割合（読了率、離脱率という）を見て反省し、記事構成の再考に生かす。

地域メディアに関心を持って訪ねてきてくれるユーザーの需要にどう応えるか。それを忘れないために、こうした作業が日常的に、発信の現場にも求められるようになったわけだ。コロナが突きつけた課題は、ここでも重い。

（編集部長・デジタル編集担当

高橋 融生）